

社会福祉法人ひまわり福祉会すくすく教室 放課後等デイサービス事業 支援プログラム

支援理念「利用者・保護者・職員、みんなが笑顔絶やさない」



- 支援方針 (1) 個別療育で個々への支援を実施し、集団支援で社会性やコミュニケーションを学ぶ場を提供する。
 (2) 家族への相談援助や関係機関との連携を実施し、包括的な支援を行う。

作成日 令和6年4月1日
 営業時間 10:00~18:00
 送迎実施 有



健康状態

<健康・生活>
 年齢が上がるにつれ心身に変化が起きる。頭ではどうすべきか分かっている、プライドや不安など、複雑な気持ちに混乱して行動に移せない。「気持ちに名前を付ける」「強さに段階を付ける」「絵にして描いてみる」など、感情を客観視してコントロールする練習をする。

心身機能・構造

活動

参加

<運動・感覚>

「緊張」「弛緩」など身体のコントロールする練習をする。また、身体の感覚や様々な感触に触れ、感覚の成長を支援する。身体の動きをコントロールできると、気持ちやテンションのコントロールへも役立つ。音楽療法も含まれる。

<認知・行動>

「着席」「注視」「聞く」「話す」「嫌なことにも頑張る」など、課題や学習に向かう姿勢を支援する。「頑張ってよかった」と感じるような関わり方や内容を工夫する。また、コミュニケーションの難しさから生ずる行動の予防方法を考える。

<言語・コミュニケーション>

「要求」「報告」「聞く」「模倣」「観察」など、自分も周りの人も大切にするコミュニケーションを学ぶ。言葉だけでなく、ジェスチャーやカードなど、子どもに応じた方法を一緒に考える。



<人間関係・社会性>

ソーシャルスキルの習得を目指す。集団での活動や友だちとの関わりを通して実践的に学び身に付ける。「挨拶」「ルール」「マナー」「礼儀」「感謝」「謝罪」など、社会生活に必要なスキルを身に付ける。



個人因子

<体験・経験（行事等）>

- 土曜日行事
 わいもクラブ、スポーツ教室
 とことこ、日帰り遠足、ハイキング
 クリスマス会、地域交流納涼大会
 地域交流もちつき大会など
- 長期休業中
 プール遊び、散歩など

環境因子

<家族支援>

送迎時の会話、連絡ノート、ラインなどで随時情報共有をするとともに、必要に応じて面談や参観する場を設け、不安や困りごとへの相談援助を行う。



<移行支援>

学校や医療・福祉施設との情報交換や担当者会を行い、包括的に支援を行える環境を作り支援する。

<地域支援・連携>

地域イベントや地域交流納涼大会・もちつき大会などの行事への参加を通して、地域との交流が深まるように支援する。

<職員の質の向上>

外部・内部研修への参加、OJTの推進

